

## 第5回北上市史編さん委員会 会議録

1 日 時 平成29年2月15日（水）午後1時25分～2時50分

2 場 所 北上市本庁舎2階庁議室

3 出席者

編さん委員10名

（佐々木和夫、佐竹邦彦、沼山源喜治、本堂寿一、和賀篤子、高橋源英、阿部武司、及川副市長、小原教育長、高橋文化財課長） ※敬称略

事務局

（小原課長、小原補佐、石田上席主任、小原主任、小田嶋主査）

※欠席：松田部長

4 内 容

市史編さん事業の進捗状況を報告した。第3回市史編さん専門委員会（12月26日開催）で出された美術・工芸の取り扱いと、普及事業の一環として来年度刊行予定の参考資料集について協議した。

5 協議結果

(1) 美術・工芸の取り扱いについて

取り上げることとする。

対象は指定文化財、市所蔵美術品、指定文化財候補の文化財など既知のものとし、改めて悉皆調査・分布調査は行わない。掲載する資料のカラーの写真撮影は行う。

1冊にまとめるのではなく、関連する時代・分野で取り上げる。

美術・工芸を担当できる方の候補として2名が挙げられた。

(2) 参考資料集について

事務局案の内容で合意を得た。

6 会議録

(1) 開会（課長）

(2) あいさつ（委員長）

(3) 報告

進捗状況について

事務局から、28年度の会議、事業、調査、資料収集・整理（27年度も含む）の進捗状況について報告した。委員から、資料収集について意見が出された。

(4) 協議・(5) その他

事務局 第3回市史編さん専門委員会で、仏像・仏具・建築・御経・仏画といった美術・工芸を今回の市史で取り上げるかどうか、市史

編さん委員会で挙げてもらいたいとの意見があった。専門委員の依頼を受けた際に、編さん委員会でまとめた今回の市史で取り上げてもらいたい主な内容について説明をしたが、その中に仏像・龍頭以外は特になかった。美術・工芸を入れるとなると、刊行計画の見直しや人選といった問題も絡み、専門委員会では決定しかねるため、編さん委員会の判断を仰ぎたいとのことだった。旧北上市史で取り上げているので、今回の市史では取り上げないという選択もあるという意見もあった。それらを含めて協議していただきたい。

美術・工芸の取り上げ方として、他市町村の例では、仙台市史は特別編1巻で古代～近代までの彫刻、絵画、工芸についてまとめている。八戸市史は地誌編という名前で地域ごとの文化財や市所蔵の美術品についてまとめた1冊を出している。横手市は市史本編以外の横手市史叢書で仏像編1巻を出している。

取り上げる場合の課題として、どこまでを美術・工芸として取り上げるかという問題がある。配布資料にある指定文化財を取り上げてもらうやり方、指定文化財と市の所蔵美術品について取り上げてもらうやり方、悉皆調査を行って指定文化財以外の文化財も網羅するやり方が考えられる。

取り上げ方としては、関連する時代の資料編の口絵で写真を入れるまたは通史編本文に入れるやり方、仙台・八戸・横手のように美術・工芸をまとめた1冊を追加するというやり方が考えられる。

取り上げる場合の問題として、現在の部会員に美術・工芸に精通する先生がいないため、人選をする必要がある。仏像については、古代の樋口先生から部会員で1名入れたいという話がされている。

委員 長           この点について意見はあるか。

委員 A           美術・工芸は当然取り上げなければならない。指定文化財、市所蔵美術品は必要だと思うが、他に何かあるだろうか。北上市出身で長年平泉の発掘に携わっていた八重樫忠郎さん（現平泉町総務企画課課長補佐）に意見を聞く必要があると思う。八重樫さんだったら分かると思うので、相談したらどうか。

委員 長           取り上げ方によって、進め方が変わると思うが、1冊追加となると構成がまた変更になってしまい、これだと逆戻りの議論にな

ってしまうので、そこまではしなくていいと思う。

委員 B 吟味した意見ではないが、例えば考古編の中に並立で入れるのはどうか。考古という分野になじまないような気がするが、独立すると物量的に半端のようなものになるし、どこかに入れた方がいいと思う。そうではないという意見もあると思うが。取り上げるとすれば、指定文化財が中心になるのは当然だと思うが、将来の指定文化財候補のリストを文化財で作っているのだから、プラスアルファとしてその中から選んで扱うこともありだと思う。美術・工芸は幅が広いので、一人でカバーすることはできないだろう。

委員 長 何名か候補を出していただいたので、そういった方の協力が得られるならばやっていいと思うが、まとめ方・規模としてはどうするか。事務局では、1つの方法として悉皆調査を挙げているが、人的にも時間的にも難しいだろう。ご意見をいただきたい。

委員 A 旧北上市史では美術・工芸はどうなっているか。

事務局 第2巻で仏像・仏具・御経・まいりのほとけを写真資料で取り上げている。

委員 長 現在ある資料の中でやってもらうということではよろしいか。

委員 B 分布調査や悉皆調査まではこれまで文化財調査をやっているのだから、やらなくていいと思う。

委員 C 旧北上市史は良いものだけれど、今はカラーが主流なので、指定文化財はカラーで載せた方がいい。また、それぞれの仏像には地縁があって、地域の信仰対象であったので、そういったとらえ方をした方がいい。例えば、立花の毘沙門は江戸時代の新渡戸氏の保護があったから残ったというような。地域の視点から文化財を位置付けてほしい。

委員 長 それでは、美術・工芸も入れるということで、悉皆調査はせずにある材料で整理して行って、専門家についてはこの会議で紹介いただいた方に協力を仰ぎ、1冊にまとめるのではなく、通史編か資料編のどこかに入れていくということにしたい。この結論を専門委員会にお返ししたい。カラー写真は改めて撮った方がいいか？

委員 B 撮影は必要だろう。今流の撮影技術があるだろうから。

委員 長 それでは撮影はするというので、美術・工芸については以上にして、次に来年度の計画について事務局より説明をお願いします。

事務局 来年度の計画で参考資料集を刊行予定している。刊行の目的と

して、市史の市民への普及を図るためとした。内容については、年表や地図を中心としたものを考えている。変遷が分かる地図、イメージとして仙台市史の付録でついているような歴史地図が作れればと考えている。古地図については、寄贈資料や情報提供された資料、図書館所蔵の地図を著作権の範囲内で掲載したいと考えている。

委員長 今回市史編さんに取り組んでいることを周知するために作るということだが、いかがか。

委員 D 本通りに関係ないところで本通りに関係する地図が出てきた例もある。この町は空襲に遭っていないので、資料は探せばまだまだあると思う。早めに手配して調査するべきだ。寄贈を受けたら、寄贈者の了解を得たうえで新聞などで紹介したらどうか。

委員長 活用するのであればどのような方を対象としているのか。小中学生などか。

事務局 そうである。

委員 B どの程度の内容を考えているか。大人にも有益な内容とするならば、年表は市史の内容に合わせて市史編さん事業が終わる辺りで出すのが一般的だと思うが、その辺はどうか。また、古地図の掲載もある程度収集してから吟味するの必要があり、現段階でこの内容を出すのは問題があるのではないか。

事務局 市史編さん事業を知ってもらうきっかけになる程度のもので、年表についても、記念誌などですでにまとめている年表のようなもので、詳細な年表までは考えていない。古地図についても、途中経過としてこのような資料が収集されているという周知につなげるために載せたいと考えている。

委員長 市史編さん事業の周知につながる内容のものということではないか。

事務局 そうである。

委員 B あまり力を入れると負担になる。詳細にしすぎると、市史本編との整合性を取る問題もある。

委員長 その点留意して、進めるようにしてもらいたい。他に意見がなければ、途中で構成について事務局から相談する機会はあると思うので、これでいきたいと思う。全体を通じて何か意見はあるか。

委員 A 部会員について、人選が決まっていないところは事務局で挙げて部会長に打診していいと思う。部会員の追加についても、要綱

の範囲内で事務局から部会長に打診していいと思う。そうしていかないと事業が進まない。

委員 C 考古については、市史編さん事業は人を育てていく面もあるので、余所の人を優先させるのではなく、埋蔵文化財センターの職員にお願いして、地元で根差した内容を書くようにしてほしい。今いるスタッフに頑張ってもらいたい。

委員 E 民俗についてもそれは言える。

委員長 編さん委員会の事前打ち合わせでも出た話題だが、近現代では一世を風靡した和賀仙人のことも触れてもらいたい。このあたりについて書ける人はいるだろうか。

委員 D 知っている人は大概亡くなってしまった。繁栄ぶりはすごかったけれども。

佐々木委員 あそこの大手はどこだったか。三菱だったかと思うが。

委員長 結構散らばってしまったので分からない。当時学生だった人も高齢になっている。誰かご紹介いただけないだろうか。

委員 F 意外と地元に残っていない。

委員 D 確かに。働いていた人たちは常盤台に引き上げたようだが、知っている人は高齢になっている。ちょっと遅かった。

委員長 10年すれば話せる人が完全にいなくなるだろうから今の内に動ければ。仙人小学校の資料はどこが引き継いでいるか。

委員 G 菊池先生が最後の校長だった。和賀西小学校が引き継いでいるかどうか聞いてみよう。

委員 E 社史をみればわかるのではないか。日本重化学か。

委員 H 岩沢周辺の鉱山は古川工業だった。ただ古川電工ではなく別なところで、この間地元で調べている人がいた。

委員長 そういった情報も教えてもらいたい。それでは、部会員については事務局でも動いてもらいたい。その他に何か意見はあるか。

(なし)

委員長 次回開催日は決まっているか。

事務局 決まっていない。

委員長 次は新しい課題が出てからということで、そのときに審議をお願いしたい。

(6) 閉会